

議会報告会（令和5年度・下半期 事業）

開催日：令和6年2月10日（土）

参加者：合計79名（市民50人、学生8人、議員21人）

実施方法：議場での全体会、テーマごとの分科会

内容：

第1部 令和6年度予算審査に向けて（予算決算委員会）

第2部 テーマについての意見交換

- ①「子育て支援の充実を」（教育福祉委員会）
- ②「公共交通を考える」（建設市民委員会）
- ③「鳥獣被害（イノシシ等）の現状と対策は」（総務企画委員会）

議会報告会(市民と議会の懇談会)
～議員と話そう!～
2月10日(土)
午後2時00分～3時30分
場所：市役所5階 議会フロア

テーマ①
子育て支援の充実を

テーマ②
公共交通を考える

テーマ③
鳥獣被害(イノシシなど)
の現状と対策は

【第1部】
予算決算の概要
について

【第2部】
テーマごとの
意見交換

★事前申し込み不要
★開始10分前まで
にお越しください。

気軽にお越しください!

わたしたちも
初めてでドキドキ

議会では、3月定例会で令和6年度の当初予算案について審議します。
今回、市民の皆さんのご意見をお聴きし、予算審議や今後の委員会活動に生かすための懇談会を行います。
テーマをいくつか設けます。気軽に議員とお話しいただけますので、ぜひご参加ください!

第1部 「令和6年度予算審査に向けて」 (予算決算委員会)



第2部 テーマについての意見交換

議会報告会実施報告書

教育福祉委員会

開催日時	令和6年2月10日(土) 午後2時20分～3時15分	開催会場	全員協議会室
参加者数	市民25人、学生3人、議員6人 (計34人)		
実施内容	第2部 テーマ① 「子育て支援の充実を」		
質疑 および 主な 意見 等	<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3グループに分かれての懇談 <ul style="list-style-type: none"> 1班 渡辺委員(進行)、酒向委員(記録・発表)、市民など 10人 2班 松尾委員(進行)、林委員(記録・発表)、市民など 10人 3班 富田委員(進行)、田口委員(記録・発表)、市民など 14人 ・自己紹介 ・「子育て支援の充実を」について意見交換 ・グループの意見まとめ <p>主な意見</p> <p>◆就学への不安</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可見市は子育てしやすい町であると感じているが、現状大きな不満はないが、小学校に上がる段階での不安や課題について知ることができる場が欲しい。 ・ここ数年の年長児は卒園に不安を抱く子が多いが、小学生が楽しんでいる姿を見かける機会が減っているのではないか。 <p>◆保護者の交流・子どもの遊びの場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級は保護者の学びと交流の場として大切で、保護者の学びについて適切に取り上げてほしい。費用面で受益者負担であるから参加できない、参加したくないという声がある。使いやすい公金の支給をなんとかしてほしい。 ・キッズクラブでは放課後の遊び、生活が指針としてあるが、保護者の勉強に対する焦り、不安や、安全安心の確保という観点から、子どものやりたいこととのギャップで葛藤を抱えている。 ・キッズクラブは預かるだけ。指導はしない。 ・キッズクラブの子達は言葉遣いが悪い →家庭支援から始めるべき ・子育て世代にとってぎふワールドローズガーデンは、閉園時間が早いことや駐車場から入場門まで距離があるなど課題はあるが需要も高い。保育園や幼稚園から帰宅してから行けるような、近くのちょうどいい距離の公園がほしい。 ・地域の子供を見ない。1人でもできる遊びをしているのではないだろうか。1人遊びが気になる。そもそも子供を見かけない。 		

- ・土日のデイサービスは、6人しかないので預けられない。可児市に聞いたら民間を勧められた。情報をもっと発信してほしい。（突発的な障がい児を預かってくれるところ）
- ・リモート授業について
- ・遊ぶ場所がないから遊ぶ場所を作らなければいけない。草刈りなども学校、自治会が主体でやっているが、外注の費用負担についても考えていかなければならない。

◆子どもの安心・安全について

- ・今の子どもたちの遊びを大人がどれだけ保障できるか。トランプや鬼ごっこなど、遊びを通じてコミュニケーションやルール、転び方などの危険回避の仕方などを学んでいく。いろいろな体験を通して学んでほしいという現場の思いと、行政の「擦り傷一つ作らないでほしい。」という思いとの差がある。
- ・親の意見としては、信頼関係ができていれば多少怪我をして帰ってきてても大きな問題ではない。
- ・親と現場とのコミュニケーションが大事で、そこがしっかりしていれば問題ないと思う。立場が大事なのか子どもが大事なのか疑問。
- ・街灯や歩道の整備が不十分な地域もあるし、不審者情報も頻繁に上がってくるため、小さな子が外で遊ぶには危険が多い。遊べる環境の整備を。
- ・キッズクラブの支援員からは、行政の要望は安全第一だが、現場は遊び体験の提供の必要性を感じている。
- ・予算、安全第一で制限が大きい。成功体験や違うチャレンジをしようという思いをダメ、ダメではでなかなか育っていかない。
- ・「やりたい」を逃さないためにも制限ばかりではなく、いろいろやらせてあげたい。全てを一律にすべきではない。
- ・ゾーン30は2箇所だけ。
- ・通学路の歩道に車を停める人がいる。
- ・ジャージに名前は良くない。
- ・思いやり駐車場を。

◆子どもの主体性を促していくには

- ・主体性は遊びに表れる。大人数の遊びは家ではできないこと。
- ・屋根がない、水がない、うるさい、ボールはダメ、学校も閉じられていて部外者の立ち入りが禁止されている。
→守られすぎていて遊ぶ場所が無くなっているから主体性もなくなっている。
- ・大人が先回りして子どもを止めてしまう。感触や手応えがないまま育った子どもは自傷行為やオーバードーズに走ってしまう。
- ・コロナ禍で発達障がいなど生きづらさを抱えた子どもの保護者の悩みに寄り添う場がなくなってしまった。

◆相談窓口

- ・市の中学生の不登校の割合は全国平均より高いが、改善するための目新しい事業が予定されておらず、前年踏襲でいいのか疑問に感じる。ヤングケアラーや経済困

窮など様々な問題が浮かび上がってくるが、市の窓口はどこなのかが分かりづらい。

- ・ 飛騨市地域生活安心支援センター「ふらっと」のようにどんな相談でもできる窓口があると分かりやすくして欲しい。

◆財政的支援

- ・ 児童手当事業は中学校修了前まで打ち切られるが、高校生修了まで伸ばして欲しい。
- ・ 中学の学生服は高額な割に使用頻度が低い。レンタルなどで負担軽減できないか。
- ・ 市内にフリースクールがない。距離的や金銭的に通いやすくして欲しい。
- ・ 少子化だからこそその手厚い補助、将来を担う若者にお金をかけて寄り添うべきである。
- ・ 問題だなと感じたのは予算を増やしても、その公金予算を使い切れるのか、それをちゃんとチェックしていけるのか。

◆不登校対策について

- ・ 不登校児の統計は。
- ・ 不登校の原因は様々。
- ・ 学年担任制→いろんな先生と接点が増えた→不登校が減ったのではないだろうか。
- ・ パブリック意識を高める必要がある。
- ・ 不登校に関して、情報をもっと発信してほしい。（突発的な障がい児を預かってくれるところ）
- ・ 可児市の中学生の不登校の割合は全国平均より高いが改善するための目新しい事業が予定されておらず、前年踏襲でいいのか疑問に感じる。

◆その他

- ・ 性教育が十分でない。性について学ぶのは必要なこと、その機会を増やしたい。
- ・ 若年妊娠のリスクなど、性教育の充実を願う。
- ・ 県のピュアサポート支援（大人の発達障がい支援）
- ・ 外国籍市民の児童生徒に対する意見を地域協働課の会議で発言したが、教育委員会の教育振興基本計画では触れられていない。課と課の横の連携が取れていないように感じる。
- ・ 困っている人がいる現状は全体の困り感に繋がっている可能性がある。今後も市民のみなさんと議会が対話をして、住みごごち一番・可児の実現を進めていかねばならない。

今後も多くの市民のみなさまと議会が対話をして、行政が目指す住みごごち一番・可児の実現を進めます。

令和6年2月15日

可児市議会議長 澤野 伸 様

可児市議会報告会開催要領の規定により報告書を提出します。



議会報告会実施報告書

建設市民委員会

開催日時	令和6年2月10日(土) 午後2時20分～3時15分	開催 会場	第1委員会室
参加者数	市民15人、議員7人 (計22人)		
実施内容	第2部 テーマ「公共交通について」		
質疑および 主な意見等	<p>進行：1グループ 野呂和久 2グループ 奥村新五 記録：1グループ 高木将延 2グループ 前川一平</p> <p>○さつきバスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通手段がない高齢者には遅い時間帯にバスがなく買い物帰りに不便 ・休日にバスがないので出かけられない。 ・乗り継ぎが悪い。 ・さつきバス、いつ見ても乗客が乗ってない。他に利用できないか。 例えば、通学用に走らせることはできないか。学校から遠い小学生は、冬は暗いうちから片道4km、歩いて通っている。 ・電車の本数はあるが、さつきバスの本数が少ない ・さつきバスの乗り心地はいいと思う。 ・施設が市の中心部に集中しているので、さつきバスは、巡回型になっていると思うが、西部、東部、それぞれ生活圏が違う。そこにあった運行を考えてほしい。 ・駅のさつきバス乗り場の看板が低いうえ、ボロボロになっている。隣に車が止まっていると見えない。その辺りから利用者目線で考えてほしい。バスの外装は目につく色合いなので、それに合わせてはどうか。 ・病院までの運行は必要。大きな病院への便はあるが、3次医療にも行ける便がほしい。 ・もっと小型のバスにして、便数を増やす。 ・10分おきに走らせれば、利用者はぐっと増える。 ・今一度、市内全体で実態調査してほしい。本当に必要な時間に走っていない。 ・路線バスでは利用者が減り、便数減、値上げとなった。さつきバスに替えられないか。 ・市はさつきバス利用者の潜在人数を把握しているのか。 ・議員もぜひ乗って 改善してほしい。 <p>○電話で予約バスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さつきバスとエリアを分けているからだとは思いますが、デマンドでももう少し先まで行けると良いと思う。デマンドのルートをもっと増やしては。 ・デマンドバスは便利で利用している。タクシーより値打ちに行ける。利用の仕方等の説明会を実施して、もっと周知してはどうか。 		

○Kバスについて

- ・無駄な運行が多すぎる。観光向けの運行をぎふワールド・ローズガーデンに絞って運行してはどうか。
- ・山城観光向けのバス（山城へ行くイベントのような循環バス）は普段ない。普段は観光ができないので観光客が増えるわけがない。観光客に不便な街。

○名鉄について

- ・名鉄西可児駅が無人化となったため不便。これから先、益々不便になるのではと不安。
- ・名鉄電車のダイヤ改正、運賃値上げを受けた対応をしてほしい。

○公共交通全体について

- ・特に高齢者には、さつきバス、Kバス、デマンドバスの違いも判らず利用に不便。美濃加茂市では休日も運行している。さつきバスとKバスを集約して分かりやすくするか、もっと情報の発信をしてほしい。
- ・ヨシズヤ可児店（カニミライブ）を新たな交通の拠点とした交通網の見直しを。
- ・自動化運転の検討もすべき。
- ・自動運転、自動配車などAI技術を取り入れた運行をすることが、一つの観光増加の要因になるのではないか。可児市のブランド力をつけることも必要だ。
- ・高齢者のタクシー移動に対して割引などできないか。
- ・タクシーの数が少ないためか、なかなか来てくれないので公共交通でカバーができないか。
- ・桜が丘地区は、多治見市向きの交通しかないため可児市民向けになっていない。可児市から出てゆく交通はいかがなものか。
- ・行く。出向く。の交通手段を考えるのではなく、ウーバーイーツのような来てくれるサービスを復旧させるのはどうか。
- ・マイカー優先の仕組みになっている。マイカーを減らす方向のまちづくりが必要。
- ・中心市街地に住まいの方は歩きでも行けると思うが、遠くの方のバスがないとどこも行けない。
- ・自家用車で駅までの送り迎えが常態化している。通勤通学時間帯は、バスの方が便利だと思えるよう、利便性を考えてほしい。
- ・独居の方が増える中、現在は買い物等に自家用車が不可欠。今後そうした方が利用しやすいと思える形にしてほしい。
- ・団地では高齢化が進んでいる。市中心部行よりも団地から駅までの往復便が必要。
- ・住民負担があっても満足いく公共交通にしてほしい。
- ・行政の研究不足に感じる。住民の意見を聞いた計画を立ててほしい。
- ・毎年アンケートなどを取り着実に計画を進めてほしい。

○その他の意見について
・要望はあるが伝え方がわからない。

令和6年 2月 15日

可児市議会議長 様

可児市議会報告会開催要領の規定により提出します。

建設市民委員会 委員長 伊 藤 壽



開催日時	令和6年2月10日(土) 午後2時20分～3時15分	開催 会場	①第2委員会室 ②小会議室
参加者数	①グループ市民6人、学生1人、議員3人 (計10人) ②グループ市民4人、学生1人、議員3人 (計8人) 合計18人		
実施内容	テーマ「鳥獣被害(イノシシ等)の現状と対策は」		
質疑および 主な意見等	<p><1グループ> 進行：大平委員長 / 記録：田上委員 <2グループ> 進行：板津副委員長 / 記録：天羽委員</p> <p>○懇談の目的：農作物等の実害把握と防衛策について、被害を受けている側（農業生産者及び市民）の状況、駆除する側（猟友会）の状況把握。</p> <p>○資料：決算時の議会からの提言(「有害鳥獣対策事業について」 新年度予算見込み額780万円(前年度より180万円増) 産業振興課提供：イノシシ捕獲数 令和4年度71頭、県調査捕獲90頭 令和5年度(1月まで)73頭、県調査捕獲92頭</p> <p>○猟友会説明：狩猟方法は主に罾(わな)、調査捕獲(豚コレラ関連)は県からの委託との説明あり。</p> <p>【主な意見】(被害状況、対策の現状など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農作物被害は山間部の一部地域ではなく市内の広域に及んでいる。 ・米作、野菜など農作物以外カタクリ(可児川下流公園)タケノコ、栗など多岐にわたって実害が出ている。 ・地域によっては、イノシシだけではなくカモシカの実害も出てきているがカモシカは天然記念物のため見守るしかできない。 ・一部地域(兼山地区)小学校のグラウンドに侵入して荒らされている。児童の20m近くに現れるなど人的被害の危険がある。行政には危機管理として対応してほしい。 ・電気柵などの対策をしても直ぐに壊されてしまう、また、電気柵は民家近くには設置出来ない現状であり、半額補助ではとても追いつかない。 ・一度侵入されると、育てた農作物を根こそぎ食べられて、やられ損の状態である。 ・電気柵だけでは効果がないが、他の対策ができない現状である。市には他の有効な対策の提案などの情報提供を求める。 ・木曽川沿いにもイノシシがいる。市が設置したカタクリを守るための電気柵は市で草刈りなどを行ってほしい。カタクリまつりで観光を盛り上げるのであればイノシシ対策はしっかりとしてほしい。 ・現状を市民に広く知ってほしい。山間部の一部の人間のわがままで予算が欲しいと行っていると思われる。市民の生命・財産の危機と捉えてほしい。 ・議員にはこの実情を市民に伝えてほしい。 <p>○猟友会の状況</p>		

- ・県の調査捕獲、有害駆除活動などを指定された猟友会メンバー12名で行っており、ここ2、3年は、資料の通り相当数の駆除はしている。市から猟友会へ連絡が入る都度対応しているが、ガソリン代などの活動資金も出ない状況で会員の負担も大きい。
- ・猟友会のメンバーでも会員の実態を把握できていない。(個人情報の関係で名簿もない) 負担が一部に偏っているため、猟友会会員の技術のマッチングや情報共有のため色々なデータをオープンにして整理したほうがよいのでは。
- ・市からの駆除依頼で、罠は比較的有効だが、罠設置に猟友会メンバー自ら地主の了解を取り付けての作業に時間も手間もかかる。罠設置場所の地主許可は担当課(産業振興課)でして欲しい。
- ・駆除した個体処理場所を積極的に確保してほしい。(大森財産区が提供をしてもよいと意思表示をしていますが、市の動きがない)

【まとめ】

猟友会の方や農作物被害者から実害や対策状況についてお聴きすることができた。まずできることとしては、有害鳥獣被害の現状を市民全体に広く知ってもらうことである。現状は農作物被害だけではなく生命、環境、財産の危機に瀕している状況であるということを市全体に周知していかなければならないと考える。また、猟友会の負担軽減を図るには、現状の狩猟免許取得補助金制度の見直しやICT技術の活用を視野に入れる必要がある。農家の作物被害については、現状の補助金制度では自己負担が多く、補助額の見直しや電気柵以外の新技術の研究が必要である。以上のことについて、市に検討を促すとともに委員会としても調査研究を続けたい。

令和6年2月15日

可児市議会議長 様

可児市議会報告会開催要領の規定により提出します。

総務企画委員会 委員長 大平 伸二



R6.2.10 議会報告会 アンケートまとめ（参加者 50 人中 42 人提出）

問1 本日の意見交換は良かったですか

…①良かった 37 件、 ②良くなかった 1 件、 ③どちらともいえない 4 件

【良かった】（一部抜粋）

- ・健全な方が多く参加されていると思いました。
- ・話しやすい雰囲気を作ってくださったので気楽に話げできた。
- ・様々な立場の方の意見や考え方を聞くことができた。
- ・疑問だったことや伝えたいことを議員の方に話せた。
- ・可児市をよりよい街へしていこうという思いは一緒だと感じられた。
- ・イノシシ被害の現状がよく分かった。
- ・可児市の交通事情が分かってよかった。
- ・子育て世代の方と意見交換ができた。

【どちらでもない、良くなかった】

- ・要望はあるが具体案がないような気がした。
- ・生々しい現場（キッズクラブ）の件などはこのような場では不適切では。
- ・話した内容が浅すぎて伝わった実感もなく、これが反映されるの？と悔しい。
- ・イベントの時間という意味では適切だが、内容が色々詰め込まれて消化不良の印象を受けた。

問2 時間の長さは

…①長い 1 件、 ②ちょうどよい 21 件、 ③短い 19 件（該当なし 1 件）

（一部抜粋）

- ・最後の報告が長い。
- ・深掘りするには時間が足りない。
- ・もう少しじっくり意見交換したかった。
- ・場が温まったころに終わってしまった印象。
- ・話が盛り上がったので時間が足りなくて残念でした。
- ・重要な問題なので良い意見が出るには時間がある。
- ・意見がまだ出ている状態で時間切れとなった。
- ・ファシリテーターの進行がよかった。
- ・あともう少し話たいくらいがちょうど良い。
- ・人数割りがちょうどよかった。
- ・皆の意見がまとまったのでちょうどよかった。

問3 その他の感想や可児市議会へのご意見

（一部抜粋）

- ・グループ討議が出来たのはよかったが、会場設定が良くない。話す人の顔が見えない、他のグループの声が聞こえてきて集中できなかった。
- ・議員の専門性が分からなかった。

- ・市民の声を大切にしてください。テーマをもう少し絞ってもいいと思う。
- ・可児市民のために全力を出して頂きたい。
- ・初めてでしたがまた参加したい。
- ・日頃から市民の話聞く、対話する(おしゃべり)場をつくっていただきたい。
- ・前進がなければ意味がないと思うので、次の話し合いでは進歩があったという意見が聞きたい。
- ・初めて議場に入って良い体験ができた。
- ・ファシリテーターの進行が上手かったので話しやすかった。
- ・議員と直接話ができて貴重な体験でした。市民の声が直接伝わる機会がもっと増えて、よりよい議員活動ができることを期待します。
- ・全体の意見共有で発言した方の名前を出すことに違和感を感じた。
- ・全ては無理ですが、一つでも出た意見を実現してくださるとありがたいです。
- ・予算の説明が資料のどこを説明しているのか分からなかった。
- ・SNS等での発信を継続的に行うほうが効果的に発信できると思う。選挙の時だけ会う方という認識を変えるにはSNSが良いと思います。
- ・今回は全市が対象だが、地域ごとでも話し合いを企画してほしい。
- ・議員の方にもバスに乗ってほしい。
- ・議員の方も現場を見る機会が少ないと感じました。
- ・公共交通について議会でも問題と認識していただいていることが分かって良かった。
- ・バスの巡回の本数が少ないのとバスの案内が見づらいので見直してほしい。
- ・日頃民生委員として訪問先の方から外出したいと思うように公共交通が使えなくて困っているという事を伝えてほしいと言われることが多かったので聞いていただけてよかった。
- ・可児市の若い方にも参加して頂けたら良いと思いました。
- ・観光開発についての基本計画がないので長期計画を作成してください。
- ・子どもと子育て世代が笑顔になる取り組みがより増えるように、また高齢者の認知症予防の積極的な取り組み充実もお願いします。
- ・子育てと言っても乳幼児～高校生(学童、若者、不登校)など幅広く、細分化してもいいと思いましたが、様々なステージの方の声を聞くことができてよかった。
- ・不登校についてあまりに知らなさすぎだと思います。生きづらい子の親のために気軽に相談できる場所や交流会をそれぞれの地区で行ってほしい。
- ・大学生が「親のプライベートがない」と言っていて、そんな未来を行きたいのかなと思った。少子化だからこそ子どもにお金をかけてくれと。子の教育、10年20年後のためのお金の使い方をもっと考えるべき。
- ・市の職員と議員とのコミュニケーションが不足しているように思う。市民の意見をしっかり聞いて行政に反映してください。
- ・鳥獣被害に対し行政ももう少し理解してほしい。
- ・市民の生活に寄り添った予算を願う。物価高等で生活負担が重い。
- ・目的が議員と話すがメインなのか報告がメインなのか分からず混乱した。
- ・メディアや学生が入ること、3月議会に反映されること、話したことが公開されることは参加者に事前に告知してほしい。